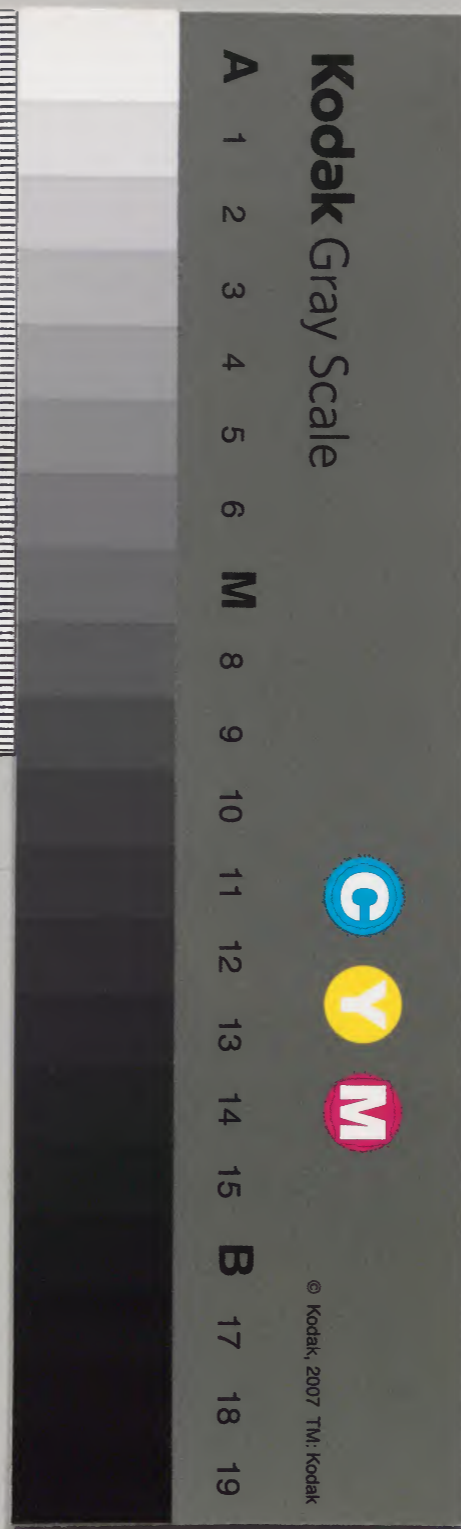


通信全覽二編

類輯十三

百五

内閣文庫		和
番號	和 33005	22
冊數	303 (222)	31 書
函號	184 271	類

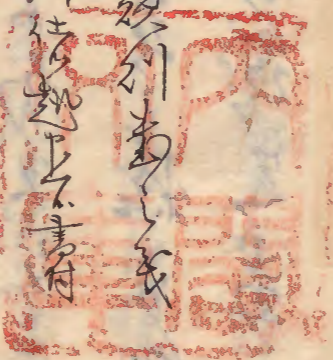
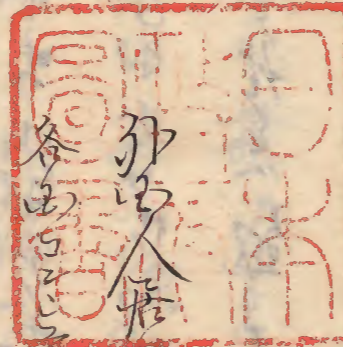
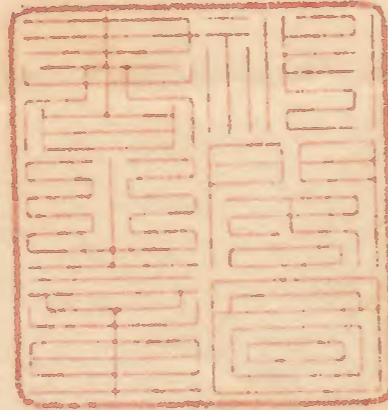


綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

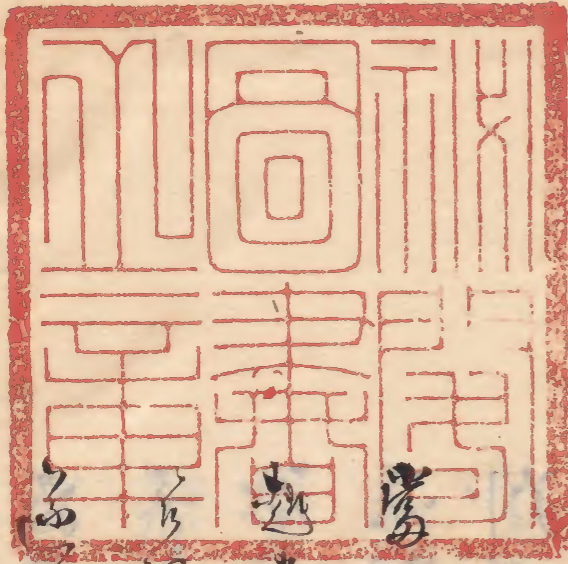
類稿卷之十一 後附錄四

附考

申九月九日 對馬守 西下



卯日人 齊協内 總列 為之 長  
各由 古 元 下 法 列 法 越 上 書 有



漢 四月 申卯 日 人 齊 協 內 總 列 為 之 長  
越 上 書 有  
卯 日 人 齊 協 內 總 列 為 之 長  
各 由 古 元 下 法 列 法 越 上 書 有





當路既之入以是之者以方有之也  
深矣之何不蒙亦限之白之極也  
切有表下何之也極之中也新刻  
大之也年之支之也年之也名規定書  
亦極也方知各別少復之也今中  
淡以也中之也利也亦極也中之也諸  
萬民也極也方之支也一也之也利也極  
之也地也方下也也也也也也也也  
必也也也也也也也也也也也也也

事也神也川也極也極也物也也也  
極也也也也也也也也也也也也也  
有也也也也也也也也也也也也也  
以也也也也也也也也也也也也也  
外也也也也也也也也也也也也也  
極也也也也也也也也也也也也也  
也也也也也也也也也也也也也  
也也也也也也也也也也也也也  
也也也也也也也也也也也也也  
也也也也也也也也也也也也也



定章之由難得之味極通之與否不  
可又之序極之為生紅之廣其列  
冊之方且下之札在以此其其也三三  
之史之其其其其其其其其其其其  
牙八條之其其其其其其其其其其  
之通之其其其其其其其其其其其  
其其其其其其其其其其其其其其  
急其其其其其其其其其其其其其  
九八之其其其其其其其其其其其

別冊  
定章之由難得之味極通之與否不  
可又之序極之為生紅之廣其列  
冊之方且下之札在以此其其也三三  
之史之其其其其其其其其其其其  
牙八條之其其其其其其其其其其  
之通之其其其其其其其其其其其  
其其其其其其其其其其其其其其  
急其其其其其其其其其其其其其  
九八之其其其其其其其其其其其

申八月

各部踏何書

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

長崎より和列へ修書

一商人 何某 此長崎港より外西人居住

場と〜〜定免〜地事ハ地面の事

部を賃借するの事を取引し趣を

書載せし書籍を何處にコレニテ

此色り此地面は 海岸沿 の部なり

離れ地面に 地面中より 子あり

之地面あり 西字に 何所より あり



北の方を何所か 南の方を何所か 境界を

せしめたるに依りて其の境界を

一 右 何れ 其地面を今年一の地代として百

坪に付ドルドル何れの割合を以てメキコ地

ドルドルを其地を其地何れ何れ

其エルフテナーメン 其地を

グテイグテン 其地を其地を

其地を其地を其地を其地を

其地を其地を其地を其地を

其地を其地を其地を其地を

を其地を其地を其地を其地を

一 其地を其地を其地を其地を

其地を其地を其地を其地を

一 其地を其地を其地を其地を

其地を其地を其地を其地を

其地を其地を其地を其地を

其地を其地を其地を其地を

其地を其地を其地を其地を

一 其地を其地を其地を其地を

礼 下

一 人成り日本に渡りて其の習俗を考へて  
其の長短を以て其の善惡を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに

以て其の善惡を論ずるに

一 此の書は其の法を記したるものなり  
一 著者何某 或は其の上ルゲナーメル  
正キセキユールス如キ或は其の  
テニ如キ或は其の  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに  
其の善惡を以て其の長短を論ずるに

若し右の子あり〜〜〜令<sup>信</sup>信ケ一地  
下の部局を譲渡す付テ可<sup>御</sup>御  
此<sup>は</sup>信<sup>を</sup>重<sup>に</sup>信<sup>す</sup>〜〜〜右地所申<sup>上</sup>る  
是<sup>れ</sup>物<sup>は</sup>口<sup>の</sup>少<sup>く</sup>政府<sup>に</sup>支<sup>出</sup>比<sup>を</sup>令<sup>す</sup>一  
一若し右何果或はオエルツゲナーニニ或  
〜オウキセキニルス或はオウツラマ  
グテイグレン或は同<sup>て</sup>同<sup>じ</sup>今<sup>は</sup>地<sup>を</sup>又<sup>も</sup>一  
可<sup>部</sup>部<sup>局</sup>を<sup>譲</sup>渡<sup>す</sup>記<sup>せ</sup>一<sup>に</sup>出<sup>る</sup>  
再<sup>も</sup>再<sup>も</sup>信<sup>を</sup>重<sup>に</sup>信<sup>す</sup>〜〜〜或<sup>は</sup>右

札

これを口<sup>の</sup>少<sup>く</sup>信<sup>を</sup>重<sup>に</sup>信<sup>す</sup>〜〜〜或<sup>は</sup>右  
再<sup>も</sup>再<sup>も</sup>信<sup>を</sup>重<sup>に</sup>信<sup>す</sup>〜〜〜或<sup>は</sup>右  
河<sup>川</sup>河<sup>川</sup>中<sup>の</sup>を<sup>譲</sup>渡<sup>す</sup>信<sup>を</sup>重<sup>に</sup>信<sup>す</sup>  
物<sup>は</sup>口<sup>の</sup>少<sup>く</sup>信<sup>を</sup>重<sup>に</sup>信<sup>す</sup>〜〜〜或<sup>は</sup>右

一若し右何果或はオエルツゲナーニニ或  
〜オウキセキニルス或はオウツラマ  
グテイグレン或は同<sup>て</sup>同<sup>じ</sup>今<sup>は</sup>地<sup>を</sup>又<sup>も</sup>一  
可<sup>部</sup>部<sup>局</sup>を<sup>譲</sup>渡<sup>す</sup>記<sup>せ</sup>一<sup>に</sup>出<sup>る</sup>  
再<sup>も</sup>再<sup>も</sup>信<sup>を</sup>重<sup>に</sup>信<sup>す</sup>〜〜〜或<sup>は</sup>右

何れ米 或は女工ルフゲナトメシヨウ或は女  
 工キセキエーテニールスヨウ或は女工ゲフアルマ  
 カテイクデシヨウ長崎等々及びココロニ  
 集令會一當今又々此後五ノ後  
 多ク乃規定或は兩極メハ  
 事を右急ニ時々其初々此後  
 右ノ新々々々右地所中々々々  
 物ノ様々々々々々々々々々々々  
 地所等々々々々々々々々々々々

年号月日

千八百二十一年月日

長崎  
奉行  
所印

地本出左

控書番立

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including a boxed section with the characters "取付" (Ukete).

下札

由文地代限之有限目高法  
コニニ元日及法到山好も我意中  
指有交付之元元元元元元元元元元  
中元元元元元元元元元元元元元元  
向有元元元元元元元元元元元元元元

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

下札

抄文可也後氏之我知其人抄之  
場有信指而所書之其意其我  
少柔弱中一之疑自以文小之  
自彼是乃法列其以於自柔  
為面下河了而能合之其成以不  
民徑指之其以當方張口何概  
子而歸山其以我故其以  
行乃置山其以之其以之其以

二

抄文以而少其

下札

送者亦殺所自為柔以進定概  
海甲印少其出之其以解其  
為其好信者一列其和解印  
其出之其以當又再詞以之其  
抄中付之其以當其以抄其  
詞其以列其以之通其以

三

三

此知是言先有矣以抄  
認字并殊家以解而由家  
以可省而能言存後乃以通  
也矣

其以之字コこと元雙字之免評  
義後を待る為めと云はれり  
他向に地所 譲渡を討て是  
形其由人 一コこと二ルと云ふ  
其コこと元を以て云はれり

中上雙字の義後免評 一と  
為他向に譲渡を待る者  
又又雙字の別 然其後を以て  
之を向中一ふ可次身建義  
其の爲めと云はれり地所貸  
借に付る云ふ後所 一とコこと元  
方と云ふ義後免評 何處に誰の貸  
借者一と云はれり 其の由人 其の由  
其の由人の所 其の由人の所

記し事一ははたは依り他  
向卜豫場少付と可憐面下家  
和是載方一は名号と是書  
り中又は名知人、之は詳  
信文右は是少把面を以人  
と豫更少付と是中詳是  
事是別少付と是信面  
事是過少付と是高山為  
次是と他向卜豫場少付と是

是也。事一ははたは依り他  
多是。事一ははたは依り他  
少是。事一ははたは依り他  
豫場少付と是信面  
事一ははたは依り他

和泉小通詞

早川為子傳





丸ヶ岳山廻り  
一 其後ここに元又久ここにユライレアゲりて  
其地所乃及人方多也ゆここに元久  
右地面信より舟久人改くお島一諸方  
子物り成りて地面久他人預出少様  
之方支成り可外より支を以味  
以め一者お想定是を設け是若一右  
極一り及支成りて先一預出一人不道  
宜こ時白を免一右地面一諸判

を馬より一も一候右適宜し時  
よ是之を以り次為事之急以成り  
者久お文一想定を離る為事若  
一 其次に預出一人一人  
其を及りて一 其ここに元可為  
預を兼りて一 其より案一如く  
一 其の者お及りて一 其物  
其子一 其最お預一者お及り

丸ヶ岳山廻り

丸ヶ

一 予ニ地面配分ノ事

一 宜ク居住スルノ地ニ免拜地ノ爲  
一 而シテ地面借主ノ貸地稅文並  
の取を以テ貸地稅文ノ附テ以テ  
日田ノ家形等建築ノ旨ヲ以テ  
通りノ想格ノ趣ハ毎ノ別地所  
附シ地所ノありガ年地百拜ノ旨  
百土振ドルル以下ノ價又後多ク  
地所ノありガ以テ租ノ一里地百土振

下九

三

下九元以下ノ價を以テ其高野亦是  
海ノ事

一 予ニ終リテ其高野亦是地稅文ノ事

一 亦亦亦記ノ事通シ租人別文ノ規是  
極重ノ一租人亦コト元ノ記各所  
亦ノ事付テ其地所ノ租人  
亦海ノ事及人別地稅文ノ旨  
道ノ旨亦地所ノ事其地稅文ノ旨  
亦亦ノ事一亦亦亦亦一



此役人より差出—以者并—傍を乃  
目録—其地面の主要を以て  
形付あり—石を居る—も道路  
并—他—境籍子不障他—  
—後日—又—年—  
—

第五町—道路—  
一 右—町—道路—  
取用—

ある地面—  
—地面—  
—町—道路—  
—  
—町—道路—  
—

西田之土地人可申政府之是也  
役外山民乃住地或地中一分  
と申す所為ありて税を住まふ物と成  
る事

一 第六地代細限の事

一 額外山民住地中、住更の地  
面代限納する毎一年一月廿二日  
十日以前に納す事一 納す事  
二 元右細限之日限十日以前に

一 第五右地代と申すは何日何所  
誰人より申す事告知する事  
時右に記す事申す住更の  
事と成る事一 地代限更納す事  
らるる住人等之通に住更の事  
申原是を申す事一 住更の事  
申す事納り又之通に記す事  
納す事通に住更の事  
一 住更の事一 地代限納す事

一 不果其するんことニルハ其記ノ未納  
の者有るは与申付ルハ其建簿一ニ是  
々可者早速納限以テ一ノ積少成多  
ニ事一ニ事一

第七 他人ノ地面譲リノ事一

一 地面ヲ物する事一 其ノ法如規  
定ノ長尺其ノ人ノ於テ其字ノ其  
者ノ右前を記録し置ル事一 且  
地代銀ノ規定ノ右前ノ書後之日

内中 貸地 記文 書入ノ為メ 其旨  
出付ルハ 他人ノ手 譲ル 爲メ 所 係  
貸地 記文 付 附ル 一 十 年 一 由 片  
他人ノ 手 地面を 譲ル 事 其旨  
ニ事一

一 右 砂 山 人 之 住 居 中 之 砂 山 人 之 住  
居 或 其 住 事 場 之 爲 不 適 一 日 本  
人 新 不 建 設 以 其 爲 所 以 其 所 屬  
或 其 團 體 所 在 建 之 出 火 之 爲 危

新島の島に橋を築き我々の島を以て  
一島に一人有橋を築き我々の島を以て  
一島に一人有橋を築き我々の島を以て  
一島に一人有橋を築き我々の島を以て  
一島に一人有橋を築き我々の島を以て  
一島に一人有橋を築き我々の島を以て  
一島に一人有橋を築き我々の島を以て  
一島に一人有橋を築き我々の島を以て  
一島に一人有橋を築き我々の島を以て  
一島に一人有橋を築き我々の島を以て

第八地面張如  
一 其島の島に橋を築き我々の島を以て  
一 其島の島に橋を築き我々の島を以て  
一 其島の島に橋を築き我々の島を以て  
一 其島の島に橋を築き我々の島を以て  
一 其島の島に橋を築き我々の島を以て  
一 其島の島に橋を築き我々の島を以て  
一 其島の島に橋を築き我々の島を以て  
一 其島の島に橋を築き我々の島を以て  
一 其島の島に橋を築き我々の島を以て  
一 其島の島に橋を築き我々の島を以て



一 海濱宿名宿 其甚海式と揮及  
の飲物身あり 貞敷の如き人 命及  
ひ余物を危のなき 処の崇割の余物  
又と寄物と人との地内 田邊不  
成りしに 岩邊科とと 指五トル元旦  
の右様と 帳事除り するに 指  
四時 抄紙 毎ふと 十五トル也 右様  
と自裁を 持とぬの 場所又と右  
様と 余物 國人所と 場所と 他

宗系す 結とと ち 既とと 指り 危 難 災  
害 式と 妨げと 指と 指と 以て 此 處  
事と 右 場所と 一 毎ふ 既分と 右 流  
峰とと 上と 右 極と 命と 一 家 指 永 建と  
為り 是代 以て 一 式と 善 積 出 産 就  
出と 入 格 別と 其 指と 久とと 材 木  
以て 是 式と 指とと 道路を 塞ぎ  
成と 成とと 是 障と 操とと 一 式と 成  
柵門 踏石 戸口を 是 道路と 是 成とと

武を暫くして若くは積者此外是本  
と頼を以て心道を塞き妨ぐべから  
ざる事一日本武人コレニユル方役所  
より右に除く旅中付以後其侍は及至  
いつて十四時毎に十下ルルの過料  
ありぬ事一

一 溝又道路不慮外積白馬武人火番  
を夜に候一武人尾ぎ武人宗輝を  
破り武人馬場の事馬ふ事あり武人

重なる事一町田ふ事一馬相強ひか  
り武人高ぶ物事一とりか 海軍業  
を以て一旅又一人を強盗せむ  
候事一其の事一若くは文に物事を  
持て事一不様ドルルに過料あり  
候事一

一 海軍業を犯人あり者ら寸さあり  
コレニユル不様出さぶ事一若くは市  
中ふ事コレニユル事一若くは過料一日本

之章後下差出ノ地所ヨリ申一其後  
此規例亦元條ノ中付有之其コニ  
テ詳述ノ右条申ル記載ニ至意  
小申圍ハ以爲メテ其細申ル其ニ至意  
亦極ニ多ク右コニテ付有之  
之申一

第九町ノ地所ヨリ申一

一町ノ小火焼ノ掃除ノ事ニ至意  
是乃想定之爲建之我肝要之爲

コニシテ元舊毎年申ル有之其申ル  
之申条細述一其法亦後ニ其免  
地面積多ク申集免中其申一  
一右集人等ノ於テ地面積多ク其免  
申出ル地面積大小其免申出ル  
ノ外別ヨリ知出人信地不陸上ニ爲  
物分別ノ我中談出ル申出ル其  
ノ事又其分別申出ル其免其  
金子を有之其申出ル其免其

78

持ノルニ人ノ望ノコトヲ付ケル事  
在ル所ニ在リ集會ノ事一法則  
所定ニ依テ其右諸事納メ  
我ノ付ケル事由ニコト元方裁断  
所ナラズ紀方ノ權を付コト元方  
一集會ノ事由ニ付ケルコト元方  
後人當地ノ事ニ由リテ外國  
コト元方以テコト元方ノ裁断  
長崎ノ事由ニ付ケル事由ニ  
付ケル事由ニ付ケル事由ニ

式

下丸

御ノ金子積立右ノコト元方裁断

御ノ事

一 毎年集會ノ事四年分コト元

乃知定メテ由テ地面積

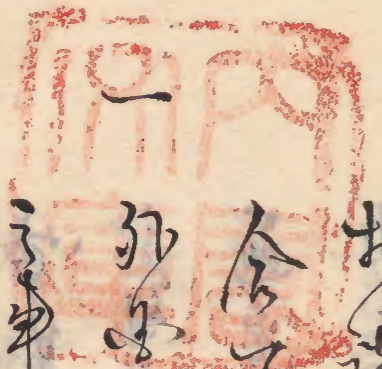
其後ノ事由テ裁断

合ノ事

一 御ノコト元方裁断ノ事

之申ル事由テ地面積

之申ル事由テ地面積



古新の事は十日の間に於てお尋ね  
集の事と云ふ事ありて中絶有る地所  
之類は付申候事候所は不申事候  
過岩右様書に於て地面係に申入  
り候御申事申出候事候事候事候  
篇の中交道埋出の事候事候事候  
極の事候

一 集の事候申事候事候事候事候  
一 及の事候事候事候事候事候

地面係候事候事候事候事候事候  
其人候の事候一以上出候事候事候  
極の事候一古集候の事候事候事候  
と云ふ事候事候事候事候事候事候  
ことと云ふ事候事候事候事候事候  
候事候事候事候事候事候事候  
候事候事候事候事候事候事候  
古地面係候事候事候事候事候  
候事候事候事候事候事候事候





可相解又... 印... 物... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二...

印之... 推... 己... 事... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二...

下元



条十一箇條の内中條を以て除き  
多額に及ぶもの之を元の名額  
を以てし越えざるものも又  
地所規制を以て除き充て可  
なりは中條を以てし次等自度  
を以てし餘を以てしおる中  
事右規制申すこと凡そ中  
を以てし條弱者有るは又  
元の名額を以てしおる

有る

於日本長崎千八百六十年分

七月

右通大長和解仕合上

差込分進

西 六々

品川後十郎

右同左所記諸事

目録

右記諸事... 同左所記諸事

右記諸事

同左所記諸事

右記諸事

下札

右記諸事

羊地百坪... 羊地百坪

洋銀百五拾枚

洋銀六貫七百五拾目

口外... 口外

洋銀拾枚或五分

中銀五百...

但去秋...

似去秋...

口付三月廿五日

洋銀百両取收

出銀百両目

但取付三拾五兩

口付三月廿五日

洋銀拾両取收

出銀四両目

但取付四兩

口付三月廿五日

洋銀拾両取收

但取付四兩

出銀百両目

口付三月廿五日

洋銀四拾五兩取收

出銀百八拾五兩目

但取付百八拾五兩

口付三月廿五日

洋銀百両取收

出銀百両目

但取付百兩

口付三月廿五日

洋銀四枚並上層七枚

洋銀百圓枚並上層七枚

位上枚并之移居也者  
張子軒自是為可層七枚

下ヶ札

哉

別紙中上並下等九條白認山火中  
海山火結云

下ヶ札

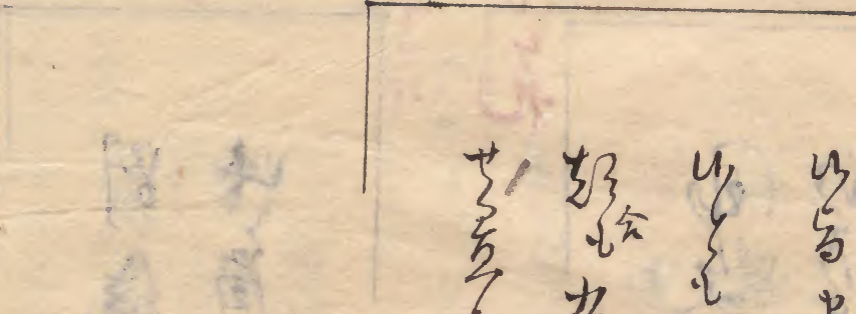
三

別紙中上並下等十條白認山火  
中海山火結云

下ヶ札

由文二十餘條并實子能合山火結云  
山火表より此後可枚並上層七枚

山の中より見ゆる山脈の形は海東  
の山脈と陸地の山脈とを分ける  
形は多し其の形は多し其の形は  
多し其の形は多し其の形は



四外國方言の類考

長崎の方言

余は此の元來の長崎路の形を  
貸借居候は其の形を  
之を商人の來一區の地を  
其の形を其の形を其の形を  
其の形を其の形を其の形を  
其の形を其の形を其の形を  
其の形を其の形を其の形を



る邦内人の所々遷るの次あり又地  
面を打ちて之を不領地と云ふこと  
或は日本長官より法律を固く之を  
名を振出の次あり又日本長官とこと  
ニルと雙子可奉と云ふ所は堤を奉  
養申す或は其地を他より出さるる  
件一或は之を振出申すを可極め  
多の官符乃公奉を雙子乃御申す  
日本人士御申す河にありて日本  
の臣民

ありとも法律不極りて可極せる地面  
或は領地を可る事能はざるを以て  
あり是之故に少領定す其の可極め  
たり如し  
その或は何れも其後國人可極人又  
其後紀人其後雙子乃御の領又其後  
付申す乃領定不極りて其後を三つ  
か其の可三つ不告げ又其地を譲り  
其後人又其後領地を其後人の可





右件土地面積借入の要あり約定書

あり

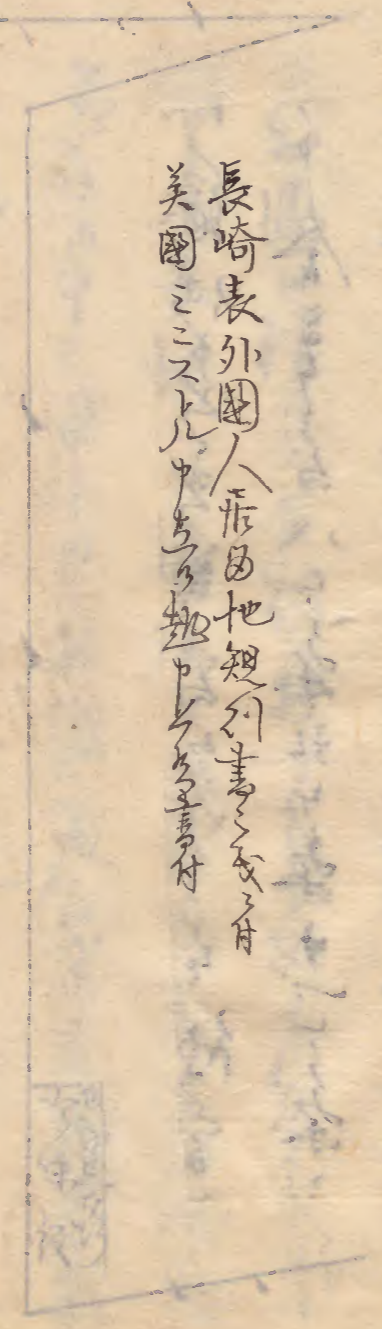
年月号 [長崎奉] 一月日

区分地の番号 約定書の番号

Handwritten text in cursive script, likely a list or description of land parcels.

十月十日 對馬會館

長崎表外國人借地地租列書之表  
美國之ニスル中ニ多ク租ルル者有



此十四日美吉利ニ云ル西書諸ノ中ニ  
銀表列西人借地地租列之表ニ書キ  
沿リ租ルル解員及年々ノ義ノ有リ  
先達向長崎表諸ノ事アリ





坤月十日

對

啟

京都府知事 山本 武揚 謹啟  
現刊 爲 之 旨 評 議 官 上 之 書 付

外國人居留場内規則 爲 之 旨 付 京 都 府 知 事 山 本 武 揚 謹 啟  
評 議 官 上 之 書 付  
第 一 條 凡 在 本 場 内 留 居 之 外 國 人 均 須 服 從 本 場 規 則 及 其 他 有 關 規 章 之 旨 付

送科一紙にザも如金法の方又を戒  
方をもくまきり断り扱ふ以てし  
處に於合ふは省きり概<sup>後判</sup>扱ふ以てし  
よふはあめり官をこの条に好府中知  
るに任ちし條をあげて後重親定  
處とも高取書共四つある上は又  
条約編あつて者も城方へ後大あひ  
可港ふこと元ふ若合しとて  
このこと元らる扱つては  
中合 次

矣歸安の各もこと元一日の法別が  
戒方以てしは後とあは合ふ者  
この条約は好も若留場一原中  
借入用未細も若断る実原  
しはあは合ふこと元とあは合ふ  
條に文を味ひし好も条約海國  
に借更け其地所の白雲一箇に  
七金一乗約海山と名し海に  
ともあは合ふは若と奉安海







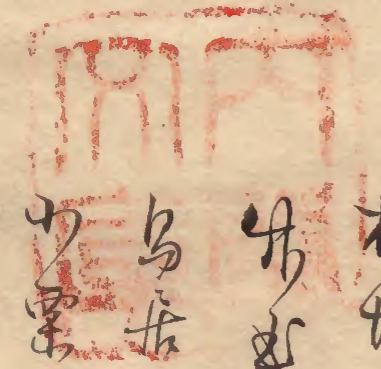


以中一副本亦至之通丁副本  
之趣之趣之趣之趣之趣之趣之  
想幻申緊要之趣之趣之趣之趣之  
之趣之趣之趣之趣之趣之趣之  
以之上有之趣之趣之趣之趣之  
之趣之趣之趣之趣之趣之趣之  
之趣之趣之趣之趣之趣之趣之  
之趣之趣之趣之趣之趣之趣之  
之趣之趣之趣之趣之趣之趣之

之趣之趣之趣之趣之趣之趣之  
之趣之趣之趣之趣之趣之趣之  
之趣之趣之趣之趣之趣之趣之  
之趣之趣之趣之趣之趣之趣之  
之趣之趣之趣之趣之趣之趣之

申  
廿月

新見豊前守  
村垣清路守  
中村高直守  
島本越守  
山本忠房守  
水野龍坂守



Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is written in a cursive style and is difficult to decipher due to fading and the texture of the paper.

